

# サポート通信

平成25年2月27日 発行  
広島市立広島特別支援学校

NO. 3

～ 特別支援教育センター校からの情報発信・ネットワーク ～



広島市立広島特別支援学校  
校長 中尾 秀行



本校は、広島市域における特別支援教育のセンター的機能を発揮して行くことを使命として本年度も様々な取組を行ってきました。公開授業研究会、研修会の公開、冬期教育相談会、教材・教具展示会、教材・教具・備品等の貸し出しに加え、本年度9月から相談機能を充実するために開設しましたサポートセンターで、幼児児童生徒や保護者、教職員の相談に応じてきました。御活用していただけただしょうか。

9月に移転・開校して以来、たくさんの方々に学校見学をしていただいています。施設・設備の中には、様々な工夫があります。サイン計画による校舎内全体の構造化、障害の程度に応じて使い分けができるステップアップトイレ、心地よい感覚刺激を提供し楽しみながらリラックスする活動ができるスヌーズレン等々です。教師が障害の実態に応じて工夫した教室内の構造化、児童生徒の作品等の掲示物を見るだけでも参考になることがたくさんあります。

平成23年度から研究主題を「自立と社会参加を目指し、児童生徒の主体性を育む授業の充実を求めて」とし、副題を「子どもが分かって動ける授業づくり」として授業改善に努めています。児童生徒の障害の状態は、重度化、多様化が顕著です。本校の全ての児童生徒が卒業後の自立と社会参加を目指すため、児童生徒の実態や教育的ニーズに応じた適切な指導と支援を行い、児童生徒の力を最大限発揮させる授業づくりに取り組んでいます。そのための、手立て・支援ツールは、通常の学級においてもお役に立てるものと思います。是非、本校への御来校、お電話をお待ちしています。

## 公開授業研究会を開催しました！



昨年11月29日(木)に公開授業研究会を開催いたしました。今年度は外部から80名(市内小・中・高等学校、県内特別支援学校教職員、就学前の通園施設職員、学校協力者会議の委員など)の方に御参加いただき、協議会でも活発な意見交流をすることができました。

また、講演では、『子どもが分かって動ける授業づくり～支援ツールを用いて子ども自らの参加を支援する～』と題して、香川大学教育学部教授 武藏博文先生に、講話していただきました。子どもに合った参加の機会をつくること、分かって動けるための環境を整えること、自ら使える支援ツールを工夫すること等を教えていただきました。武藏先生をはじめ指導主事の先生方からいただきました御助言・御指導を今後の指導に生かしていきます。



小学部第2学年の公開授業



武藏先生の講演会

# 冬期教育相談会を実施しました！

昨年12月26日（水）に冬季教育相談会を実施いたしました。年末の忙しい時期で、しかも1日だけだったにもかかわらず市内の小・中学校・高等学校から計9件の相談がございました。ほとんどが通常学級や特別支援学級での児童生徒への指導・支援についての相談でした。

今回、相談会であった具体的な相談の一例を御紹介いたします。



小学校通常学級担任

書くことが苦手でテストになると教室から出て行ってしまいう児童がいます。その児童は、問題を口頭で問い掛けると答えられることがよくあるのですが……。このような児童には、どのように支援をしていけばよいのでしょうか？

子どもの得意な面を生かすようにしてみてもどうでしょう。この児童の場合、書いて表すということに困難さがりますが、話すことは得意なようです。書く代わりに話すという方法をOKにしてあげると参加できる場面が増え、自信も付いていくのではないで



本校相談教員

今回、御参加いただいた方全員から「参考になった」、「今後も継続して相談を受けたい」という御感想をいただきました。また、次年度も開催いたしますので、よろしければ御参加ください。

## サポートセンターからのお知らせ



サポートセンターでは、検査器具や図書などの貸出も行っています。検査器具や手引書、特別支援教育に関する図書を少しずつそろえているところです。ほんの一部ですが、購入した図書を御紹介します。



「タスクガロア」シリーズ（自立課題編・集団生活編・自立生活編）ASD ビレッジ出版  
自閉症スペクトラムの子どもたちのための視覚的構造化された教材例が写真入で紹介されています。教科学習につながる自立課題の例など、日頃の指導に生かします。



「障害のある子どもの教育相談マニュアル」国立特別支援教育総合研究所著 ジアース教育新社  
保護者面談の心得や学校コンサルテーションの進め方など、特別支援教育コーディネーターだけでなく担任の先生方にも役立ちます。



「発達障害のある大学生のためのキャンパスライフサポートブック」高橋知音著 学研  
サポートの方法や自己理解の支援法など、中学・高校でも参考になる情報が載っています。

子どもたちが自分らしく学ぶための支援を提供します。お気軽に御相談ください。

**サポートセンター 直通電話 (082)256-2310**  
**教育相談主任 堀川 淳子**

発行：広島市立広島特別支援学校  
〒734-0013 広島市南区出島四丁目1番1号  
TEL (082) 250-7101 FAX (082) 250-7102  
担当 特別支援教育コーディネーター 草羽 俊之・石橋 敦  
E-mail yougo-s@e.city.hiroshima.jp

